

## 1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

| 月間  | 旬別      | 上旬   |      | 中旬   |      | 下旬   |      | 月間    |       | 特記・コメント    |
|-----|---------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------------|
|     |         | 本年   | 平年   | 本年   | 平年   | 本年   | 平年   | 本年    | 平年    |            |
| 11月 | 平均気温（℃） | 13.2 | 8.9  | 5.4  | 7.2  | 4.1  | 5.9  | 7.6   | 7.3   | 月間平年比+0.3℃ |
| 11月 | 降水量（mm） | 27.0 | 13.5 | 25.5 | 19.0 | 16.5 | 21.8 | 69.0  | 54.2  | 月間平年比127%  |
| 11月 | 日照量（h）  | 60.5 | 54.2 | 46.6 | 47.6 | 53.2 | 45.9 | 160.3 | 147.8 | 月間平年比108%  |

## 2023 11月気象ポイント

- ◆ 気温：最高気温 25.5℃（11/6）、最低気温 -2.7℃（11/11）、氷点下観測 14日
- ◆ 降水量（平年比）：上旬 27.0 mm（201%）、中旬 25.5 mm（134%）、下旬 16.5 mm（76%）
- ◆ 降雨 10 mm以上記録日：24.0 mm（11/7）
- ◆ 日照量（平年比）：上旬 60.5 h（112%）、中旬 46.6 h（98%）、下旬 53.2 h（116%）
- ◆ 地温 20 cm（平年比）：上旬 13.9℃（+2.1℃）、中旬 10.6℃（+0.5℃）、下旬 8.3℃（-0.5℃）

## 2. 生産の経過・病害虫発生状況・今後の対策

【加温ハウス】：サクランボ 12棟。初出荷：4/2。ピーク 5/15。最終：6/25。数量（昨対）90%  
：ハウスもも 1棟 初出荷（日川）：4/26 最終：5/22。数量（昨対）95%。  
：ぶどう棟数は昨年並み。初出荷は4月下旬頃。出荷進捗は早める見込み。シャインピーク 8月初旬頃。

## 【露地】

## ① 生育情報

満開：太陽 4/6、白鳳 4/11、佐藤錦 4/14、南水 4/13、ラフランス 4/13、ふじ 4/21 \*平年比△10日程度。

落花：太陽 4/16、白鳳 4/19、佐藤錦 4/24、南水 4/22、ラフランス 4/23、ふじ 4/29 \*平年比△7日程度。

## ② 生産基盤 2023（推定）

ぶどう 340ha・りんご 144ha・もも 86ha・プラム 35ha・和梨 10ha・桜桃 7ha・柿 6ha・西洋梨 5ha

## ③ ぶどう 2023

- ◆ 全体：シャイン・ルージュ自然増。巨峰・パープル面積減。ぶどう全体の生産量は昨対 110～115%を見込む。
- ◆ 開花：巨峰 6/7頃、シャイン 6/10頃 \*平年比+1～2 満開：巨峰 6/13頃、シャイン 6/17頃 \*平年+1～2
- ◆ 5～6月天候不順や低温等により生育停滞。開花は平年より遅れた。加えて開花のバラツキが過去になく大きかった。
- ◆ ベレーゾン前からの干ばつで巨峰系の肥大停滞あり。シャインも枝管理の遅れなどで肥大不良や肥大のバラツキ見られた。
- ◆ 収穫開始（露地）：パープル 8/27、種なし巨峰 9/3、シャイン 9/13、ルージュ 9/18
- ◆ 高温により成熟は大きく前進。シャインでは8月下旬から黄化やシミ等の高温障害が散見された。

## ④ 立木果樹特記

- ◆ 収穫開始：ムーンルージュ（赤果肉りんご）10/27～、ぐんま名月 10/30～、サンふじ 11/5～
- ◆ りんご：サンふじ：玉流れ 36>32=40>40 平均糖度 16.0%（高い）。つる割れ、つるくぼ付近のヒビ散見。
- ◆ もも：ゴールデンピーチ平均糖度 14%（陽だまり率 30%）。核割れ、せん孔病散見。
- ◆ ナシ：南水平均糖度 14.4%（陽だまり率 60%）。
- ◆ プラム：秋姫、成熟遅延。高温障害発生。（部分的な果肉の軟化） シナノパール糖度 18%以上。

## ⑤ 病害虫 2023 重点対策

- ◆ べと病・黒とう病：6月下旬感染あり（副梢葉等）。粒感染が確認されたが実害は少。盛夏期の拡大なし。
- ◆ 晩腐病：梅雨後半に感染→成熟期の8月下旬から発病確認。収穫遅れ（酸味低下）になった房への発生あり。実害は少。
- ◆ ぶどうスカシバ：6月から巨峰系のみならずシャインにも被害散見。大被害となっていないが、山間部での発生日立った。
- ◆ りんごハダニ類：8月中旬以降、一部園地でナミハダニの密度上昇。
- ◆ りんご黒星病：5月末頃から葉病斑、果実病斑を確認。6月中旬から、新梢先端～3枚目の葉に病斑散見。治療痕もあり。
- ◆ りんご褐斑病：8月以降、一部園地にて葉病斑が散見される。
- ◆ ももせん孔細菌病：開花期～春型枝病斑、5月中旬～葉病斑、5月下旬～果実病斑を確認。昨年よりも発生密度が高い
- ◆ スモモヒメシクイ：8/上旬～第二世代発生増加。一部、果実被害散見。